

ちょうなん

ぎがい

第193号
2025

11

議会だより

CONTENTS (主な内容)

- 令和7年第3回定例議会…………… 2
- 決算特別委員会 意見を付し認定すべきと決定… 3
- 町政を問う！5人の議員が一般質問…………… 5

今月号の表紙

「よいしょ！よいしょ！」
みんなで力をひとつにして——
運動会本番さながらの練習の一コマ。
(撮影場所：長南保育所)

令和6年度決算認定のほか 全ての議案で 承認・認定・可決・同意に

第3回 定例議会

[会期] 9月3日～10日
(8日間)



▲定例会本会議の様子



▲決算特別委員会委員長報告（鈴木委員長）

令和6年度会計決算認定の流れ

町長からの決算書の提出

本会議

・決算特別委員会の設置・付託

決算特別委員会

・質疑・討論 ⇨ 委員会採決

本会議

・決算特別委員会 委員長報告
・委員長報告に対する質疑
・討論 ⇨ 議案採決

令和7年第3回定例議会は、専決処分の承認1件、令和6年度各会計決算認定7件、条例の一部改正2件、補正予算2件、損害賠償額の決定及び和解1件、教育委員会委員の任命同意1件の14議案について審議しました。

令和6年度決算認定においては、内容が複雑多岐にわたるため、議長を除く9名で決算特別委員会を設置し、これに付託して審査を行いました。

審査の結果、全ての議案において、原案のとおり承認・認定・可決・同意となりました。

また、一般質問は5人の議員が行いました。

(5ページから掲載)

《令和6年度決算認定》 町に対して審査意見を付し 全員一致で認定すべきと決定

決算特別 委員会

9月4日、5日、8日
(3日間)

委員長に鈴木ゆきこ議員、副委員長に太田久之議員を選出しました。

初めに、令和6年度決算に対するの総括質疑を町長に行い、各会計決算については担当課に詳細な質疑を行いました。

審査の結果、意見を付して、全員一致をもって認定すべきものと決定しました。

(審査意見は3ページに掲載)



決算特別委員会からの審査意見

一般会計

- 1 今後も人口減少等の影響により、自主財源の確保が一層厳しくなることが予想される。そのため、引き続き特定財源の確保に努めるとともに、各事業の執行にあたっては、計画的かつ持続可能な財政運営の観点から、事務事業の効果や緊急性を適確に見極めたうえで、適切な執行に努めていただきたい。
- 2 税負担の公正・公平の原則に基づき、関係法令を遵守しつつ、さらに未収金の解消に取り組まれない。
- 3 ふるさと納税による寄附獲得のさらなる促進を図るため、返礼品の拡充・充実に取り組まれない。
- 4 地域農業を維持するために、国県の補助制度などを活用して、新規就農者の確保や若手後継者の育成に努められたい。
- 5 町活性化に重要な地域おこし協力隊事業については、成果や効果を最大限に発揮していくために、住民との交流を深め認知度向上に努めて、事業展開に取り組まれない。
- 6 町道の維持管理や改修・修繕についてはパトロールや住民からの通報も踏まえて速やかな処理を行われたい。また、架け替えや修繕が多く残っている町の橋については点検・修繕が必要なので予算確保に努め、計画の推進を図られたい。

- 7 有害鳥獣による被害の軽減を図るため、さらに狩猟者の育成および駆除活動の促進を行うとともに、民間企業と連携し、資源の有効活用にも努められたい。

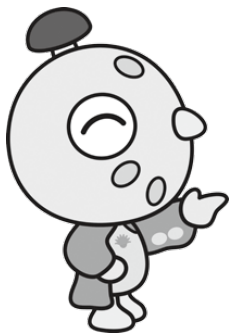
- 8 保育所および学校給食に関しては、米やその他食材の価格高騰が続く中、補助金等の活用により、十分な量と品質の確保に努めていただきたい。また、オーガニック食材の提供や地産地消を取り入れた食育の推進にも積極的に取り組まれない。

特別会計（介護保険特別会計）

- 9 高齢化比率はさらに上がり、老々介護の増化に対応する介護サービスのさらなる充実を行うこと。また、認知症のさらなる取組として、予防や早期発見施策の構築に努められたい。

事業会計（ガス事業会計）

- 10 ガス事業については、町民に安価で提供されている。今後は電気エネルギーとの併用などの新たな活用を検討し、需要拡大と健全な経営の継続に向けて取り組まれない。



令和7年長南町議会第3回定例議会 議決結果

議案番号	件 名 (内 容)	議決の結果 (※ ¹)
承認 第1号	専決処分の承認を求めることについて (特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する 条例の制定について)	承認 賛 (9) 否 (0)
認定 第1号	令和6年度長南町一般会計歳入歳出決算認定について	認定 賛 (9) 否 (0)
認定 第2号	令和6年度長南町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定 賛 (9) 否 (0)
認定 第3号	令和6年度長南町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定 賛 (9) 否 (0)
認定 第4号	令和6年度長南町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定 賛 (9) 否 (0)
認定 第5号	令和6年度長南町笠森霊園事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定 賛 (9) 否 (0)
認定 第6号	令和6年度長南町農業集落排水事業会計利益の処分及び決算認定について	認定 賛 (9) 否 (0)
認定 第7号	令和6年度長南町ガス事業会計利益の処分及び決算認定について	認定 賛 (9) 否 (0)
議案 第1号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び職員の育児休業等に関する条例の一部 を改正する条例の制定について (育児を行う職員の仕事と家庭の両立支援の拡充等による改正)	原案可決 賛 (9) 否 (0)
議案 第2号	長南町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律 に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する 条例の制定について (マイナンバーカードを活用した医療費助成の利便性向上を図るための改正)	原案可決 賛 (9) 否 (0)
議案 第3号	令和7年度長南町一般会計補正予算(第3号)について (旧笠森ドライブイン解体工事、舗装修繕及び道路維持工事 他)	原案可決 賛 (9) 否 (0)
議案 第4号	令和7年度長南町介護保険特別会計補正予算(第1号)について (支払基金交付金の返還金、一般会計への繰出金)	原案可決 賛 (9) 否 (0)
議案 第5号	損害賠償額の決定及び和解することについて	原案可決 賛 (9) 否 (0)
議案 第6号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて (現委員の金木武信(かねきたけのぶ)氏の再任)	同意 賛 (9) 否 (0)

※¹ 議長は議事進行を行うため、採決に加わりません。在職議員 10 名(議員定数 10 名)

ここが聞きたい！

5人の議員が一般質問を行う

定例会の1日目及び2日目に一般質問が行われ、5人の議員が町政について質問しました。
件名について掲載いたします。

なお、一般質問は町政全般について、希望する議員が質問や提言を行うもので、制限時間は1人につき1時間です。

すずき
鈴木 ゆきこ 議員

P6

- ☐ 休日のデマンドタクシーの取り組みは
- ☐ 利用者の年齢制限の緩和は
- ☐ 豊原住宅の今後は
- ☐ 熊野の清水公園の管理は

かとう よしお
加藤 喜男 議員

P7

- ☐ インター周辺の開発は
- ☐ スマートフォンなど最近の指導状況は
- ☐ 西消防署を借りては
- ★ マイナンバーカード及びマイナ保険証について
- ★ 町活性化に係る支援事業の状況について
- ★ 買物支援事業の状況について

こうの こうじろう
河野 康二郎 議員

P8

- ☐ 生成AIの活用環境の整備を
- ☐ 文字起こしツールの導入を
- ☐ マニュアルの策定、条例の制定を
- ★ 町ホームページにおける各種会議録の扱いについて
- ★ 非常備消防団について

あべ じゅんいち
安部 潤一 議員

P9

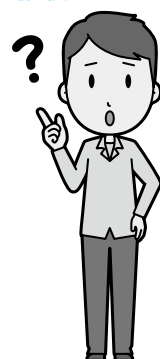
- ☐ 町の情報発信体制
- ☐ 空き家問題と景観・移住促進
- ☐ 農業の継続性

おおくら まさゆき
大倉 正幸 議員

P10

- ☐ 軽自動車税（種別割）の一部減免を
- ☐ 本町の人口減少について
- ☐ 保育園児や小中学生の減少について
- ☐ 小中学校の考えは
- ☐ 分譲地計画について
- ☐ 投票終了時刻の繰り上げを

町政を問う



一般質問は、質問者本人の原稿をそのまま掲載しています。

☐ 印の質問は掲載された質問ですが、★印は紙面の都合により掲載していません。
詳しくは、議会ホームページの会議録をご覧ください。

休日のデマンドタクシーの 取り組みは

試験的に長南フェスティバルで運行



鈴木ゆきこ 議員

問

休日の町主催
行事にデマンド
タクシーが利用できる
よう、利便性向上につ
ながる取り組みが出来な
いか伺います。

企画財政課長

昨年、休日に開催し
た長南フェスティバル
では、試験的に運行し
た結果、5組の利用が
ありました。

今後も利用者ニー
ズ、タクシー事業者と
の連携を踏まえた中
で、休日に開催する町
全体に関わる大規模な
行事を中心に、運行の
要否を判断していきま
す。

利用者の年齢制限
の緩和は

問

デマンドタク
シーの登録者数
は7月24日現在で、
961人ですが、65歳
未満の免許のない方で
バスの運行状況が変更
などにより、不自由を
感じている方がいま
す。

企画財政課長

緩和をした場合、利
用者の予約が取りづら
くなる事、タクシーや
バスの運行状況に影響
を与える可能性がある
事から、現段階では従
来通り満65歳以上の方
を対象として考えてい
ます。

地域公共交通活性
化協議会で協議

そこで、利用者の年
齢制限の緩和ができな
いか伺います。

豊原住宅の今後は

問

廃止の通知か
ら2年半が経過
していますが、現在の
状況と廃止後の土地活
用について伺います。

建設課長

47戸中、20世帯34名
が入居しており、その
うち11名が単身者です
が、茂原市の不動産業
者や長柄町、大多喜町
の町営住宅を紹介して
います。
また、廃止後の土地
活用は、地理的な条件
などから、住居系と考
えています。

不動産業者などを
紹介

熊野の清水公園の
管理は

問

完成して20年
が経過した公園
の維持管理は、どの様
にしているのか伺いま
す。

産業振興課長

観光施設維持管理委
託として、町シルバー

町シルバー人材に
委託



人材センターが管理を
しており、業務内容は、
園内等の草刈りや花壇
の草取り、また、池や
花ハス圃場の雑草の処
理を、年6回それぞれ
実施しています。
また、花ハス圃場は、
ガマや外来種の水草が
多いことから、堆積土
を取り除き、現在ある
花ハスの植え替えを予
定しています。

インター周辺の開発は

県と協力して企業誘致に取り組む



加藤喜男 議員

問

長南茂原インター周辺の開発

ですが、高速道路やインターチェンジのない自治体から羨ましいという話を聞いたりすることがあります。開発は考えているのか伺います。

企画財政課主幹

県の地域づくり課や企業立地課と連携・情報共有を密にするとともに、インターチェンジ周辺への進出企業のあっせんを強く要望し、開発の推進に努めています。しかしながら、現状ではなかなか手を挙げ

る企業が見つからない状況となっていますが、高速道路インターチェンジ周辺という立地条件の強みを活かし、引き続き、県と協力して企業誘致に取り組んでいきます。

スマートフォンなど最近の指導状況は

問

携帯電話・スマートフォン

による事件が新聞やニュースで報道されており、携帯電話やスマートフォンについても、1日に2時間以上スマートフォンでゲーム等には注意が必要だということ、また、5時間以上使い過ぎると生活に支障が出るとも言われています。そうした状況の中、最近の児童・生徒への指導状況をお聞かせします。

保護者にも講演会を

教育課長

携帯電話やスマートフォン

などの利用をめぐっては、様々な懸念される問題があり、児童・生徒の人間関係づくりや生活スタイルの面にも大きな影響を与えることが危惧されます。

そのために、学校では、情報モラルについて、道徳をはじめ各教科学習で扱い、「被害者とならない、加害者とならない、加害行為に手を貸さない」という点に留意しながら、適応できる能力を身につけさせるようにしています。また、全校児童・生徒を対象にスマートフォンや安全教室や全校集会の場にて注意喚起などを行っています。保護者に対しても、

活用は考えていません

総務課長

西消防署は、長生郡

市広域市町村圏組合の所有となっています。昭和47年に建設された53年が経過していることから、耐震基準も満たしていただく安全を確保できません。

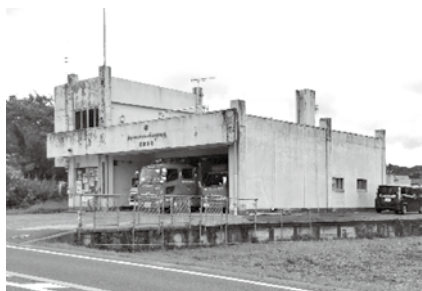
このことから組合も再活用は考えていません。

西消防署を借りては

問

近い将来、現在の西消防署は

不要となります。耐震性の問題もあると思いますが、使わないのなら貸してもらうことができるのか伺います。



生成AIの活用環境の整備を

ガイドラインの策定と研修で



河野康二郎 議員

問

①生成AIの活用状況、②ガイドライン策定の必要性、③職員育成のための研修の充実について伺います。

総務課長

①現在、町では行政向けに特別に提供されている「対話型AI」を試験的に利用しています。そのほかにも、同じように文章作成や検索を助けてくれるAIサービスを活用できるように、複数の選択肢を用意しています。

②現在の注意事項を見直し、修正を行い、長南町生成AI活用ガ

イドラインとして運用することを考えています。

③定期的な職員研修を行い、生成AIの有効な活用につなげたいと考えています。

文字起こしツールの導入を

問

文字起こしツールの活用、導入を提案します。

試験運用中のソフト活用で

総務課長

現在、職員が作成した試験運用中のソフトを使用し、年内導入を目指しています。

今後の選定にあたっては、ツールの進化、必要性から広く情報の収集を行いたいと考えています。

マニュアルの策定、条例の制定を

問

カスタマーハラスメント（以下、「カスハラ」という。）を許さない社会認識を共有化することが重要だとされ、様々な媒体、現場での啓発、教育を行うことで理解を深め、防止に資することができるとして、国・自治体・民間企業等で取り組みが進んでいます。

本町におけるカスハラ防止に向けた、①取り組みを伺い、②対応マニュアルの策定・防止条例制定を提言します。

研修の継続と対応マニュアル策定で

総務課長

①令和6年12月に、全職員を対象としたカスハラ研修を実施しました。

カスハラ研修については、各種研修とバランスを考慮し、適切な時期に繰り返し実施をするように努めています。

②カスハラ条例は、民間事業所を含めた町内におけるカスハラ行

為等について、明文化することで幅広く効果が期待されます。一方、カスハラ行為を認定するための基準及び公表、または警告など様々な規定について慎重に検討する必要がありますことから、現時点では、カスハラ対応マニュアル策定を優先的に考えています。

マニユアルについては、基本的な対応方法や組織的な考え方を整理し、調査、研究等を進め策定したいと考えています。

暴力・暴言、土下座の強要…

そのクレーム、やりすぎではありませんか？

STOP! カスタマー・ハラスメント
—みなさまに気持ちよく過ごしていただくために—

カスタマー・ハラスメントとは？
カスタマー・ハラスメントとは、例えば、
・過大な要求や不当な言いがかりなど、主観・内容等に問題があるもの
・主張する内容には正当性があるが、暴力や暴言など、主張方法に問題があるものが考えられます。
暴力行為を始め、中には犯罪行為に当たる可能性のあるものも含まれます。

意見を伝える際のポイント
意見がきちんと相手に伝わるように、従業員に意見を伝える際には、以下の点を意識してみてください。

①ひと呼吸、置きましょう！
②言いたいこと、要求したいことを明確に、そして理由を丁寧に伝えましょう！
③従業員の説明も聞きましょう！

国土交通省 経済産業省 消費者庁 厚生労働省 国土庁 警察庁 農林水産省

▲カスハラ防止対策の周知・啓発ポスター（消費者庁ホームページより）

町の情報発信体制

D X推進計画の中で検討



安部潤一 議員

問

町民から「ホームページで情報が探しにくい」「町外への発信が少ない」という声があります。

防災・移住・観光など、町の将来に関わる情報をわかりやすく発信する体制づくりが必要です。役場全体の情報発信をまとめる組織の設置、人材の確保や育成、ホームページやLINEの改善、町民の声を取り入れる方法について伺います。

企画財政課長

広報は主に広報紙・ホームページ・LINEで分担運用しています。今後はDX推進計

総務課長

画（デジタル技術活用）の推進計画）の中で、SNS活用や統括体制を検討し、ホームページ刷新は現時点で未定ですが、DX推進の中で検討します。

町民の声はLINEアンケート等を検討し、町長室開放や座談会も継続して取り組んでいきます。

DXに関する人材育成は、国の外部団体や県の研修等を活用します。

空き家問題と景観・移住促進

問

空き家は移住希望者の受け皿になります。放置すれば景観を損ね、防災上も危険です。「草木が伸びて危ない」「住める空き家が少ない」との声もあり、資産と

して活かす取組が急務です。

建設課長

管理不全空き家は相続人を調査し適正管理

今後は不動産関係団体との連携も視野に、地域おこし協力隊を活用して登録促進や移住定住の推進に取り組んでいきます。

企画財政課長

協力隊の活用と連携を視野に推進

空き家バンクの実績や現状、手入れされていない空き家への対応、人員不足に対する外部人材や不動産業者との連携について伺います。

農業の継続性

問

農業は町の基盤であり、景観や暮らしを支える大切な柱です。近年「田んぼをやめたい」という声や耕作放棄地の増加への不安が広がっています。農地の集約、担い手の確保、新しい農業の推進が急がれます。

農地集積率向上の取組、協力隊・新規就農者・企業参入による担い手確保、スマート農業や有機農業推進の方針について伺います。

産業振興課長

町全体の農地集積率は23%で、基盤整備済み農地では55%まで進

を依頼しており、対応が進んでいます。

んでいます。谷津田などでは借手不足が課題です。担い手確保は協力隊募集や新規就農支援を継続し、レンコン農家支援にも力を入れています。

スマート農業では既にドローンを配備していますが、今後は、ラジコン草刈機の導入検討をしていきます。

有機農業は、従事者も出てきており、町内にて消費が見込まれます。今後、オーガニックビレッジ（有機農業推進の町）はひとつの取組と考えています。



軽自動車税（種別割）の一部減免を

見直しは難しい



大倉正幸 議員

問

経年車重課に
より、町税である軽自動車税が増額となるが、増額分だけでも減免してもらえないか伺います。

税務住民課長

自動車税制の見直しについては、国の制度設計ですので、町独自で全体の税制の在り方がある中で制度全般を見直すということは難しいと考えます。

用語解説

経年車重課（※1）

最初の新規検査から13年を経過した車に対して税額が上がる制度

本町の人口減少について

問

第三者機関による人口推定は2040年には4509人、2050年には3189人ですが、その時の問題点をいち早く把握し、対策を考えるべきと思うが、町の考えを伺います。

企画財政課長

人口が減少したとしても町の財政状況を健全に保つことが必要だと考えます。また、持続可能な町を構築する為の選択と集中を行っていく必要があると考えています。

保育園児や小中学生の減少について

問

保育所、小中学校の運営について近いうちに近隣の

町との連携、統合などを考える時期が来るのではと考えるが、保育所の考えを伺います。

存続させていきたい

福祉課長

保育サービスの充実が町の重要な施策であるので、たとえ少子化が進行したとしても、子育て世代が安心して預けられる保育所として存続させていきたいと考えています。

小中学校の考えは

問

小中学校の考えを伺います。

連携は考えられる

教育課長

学校教育法において、各市町村に小中学校の設置をすることになっていきます。極端に児童生徒数が減少した場合、他市町村との組

合立学校設立も考えられますが、慎重な協議が必要であると考えています。

他町との連携については、学校長とも協議の上、修学旅行、運動会等で考えていきます。

分譲地計画について

問

以前、宅地分譲は民間事業者に任すべきとの答弁がありました。が、いまだ分譲地計画が聞こえてきません。経過を伺います。

必要に応じ支援

企画財政課長

宅地を分譲することについては、町有地に適地がないため、用地取得、造成など多額の費用がかかり財政負担が大きくなります。容易には進まない

が、様々な機会を捉えて宅地分譲が進められるよう民間事業者に働きかけ、必要に応じ支援を検討していきたいと考えています。

投票終了時刻の繰り上げを

問

選挙の投票終了時刻を2時間程度繰り上げてはいかがかと考えるが、町の考えを伺います。

検討を始めている

選挙管理委員会書記長

全国的に見ても、投票終了の時間を繰り上げる投票所が増える傾向にあり、全国の投票所のうち40・5%が繰り上げを実施しています。長生管内においても、投票時刻を繰り上げる方向で検討を始めている。

長南町議会をもっと身近に 議会が自宅で見れるようになります

これまで議場まで足を運ばないと見られなかった町議会の様子を、これからは ご自宅のパソコンやスマートフォンで見れるようになります。

現在、年度内の開始に向けて準備を進めています。

会議の様子を生中継で見ることができるだけでなく、録画配信でも視聴できるようにする予定です。



この取り組みで、お好きな時間に、何度でも繰り返しご覧いただけるのが大きな特徴です。

また、今後の議会報には議員ごとの質問をまとめた QR コード を掲載する予定です。スマートフォンで QR コードにかざせば、その場で議員ごとの動画を見ることができます。

準備が整い次第、町ホームページでお知らせいたします。

長南町議会は、これからも町民の皆さまにとって わかりやすく、身近な存在となるよう取り組んでまいります。





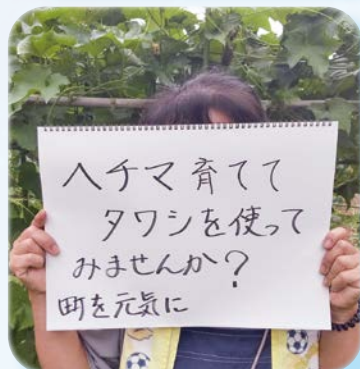
町議会議員が聞く！街頭インタビュー



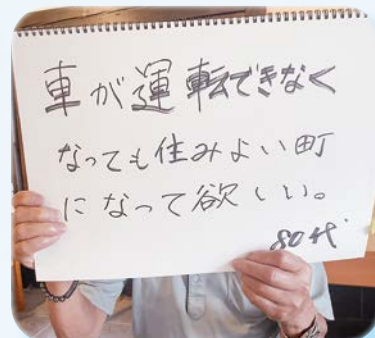
ちやうなん町民の みなさまの



議会・議員へ期待すること（やってほしいこと）を街頭インタビューしました。



今回のインタビュアーは私たちです



議長・議員が出席または参加した主な行事

〔8月〕

3日 一宮町花火大会（松野議長・河野副議長）

11日 郡町村議会議長会臨時会（松野議長・長南町花火大会（松野議長・河野副議長）

18日 議会全員協議会

19日 議会改革特別委員会第2部会

22日 議会運営委員会

28日 議会改革特別委員会第1部会 郡町村議会議員・事務局職員合同研修会

〔9月〕

3日 第3回定例議会（10日）

4日 常任委員会「総務経済・教育民生 決算特別委員会（7・8日）」

17日 議会改革特別委員会第2部会

〔10月〕

6日 長生都市議員会地区交流会

7日 議会広報特別委員会

11日 議会改革特別委員会第2部会

18日 長南保育所運動会（松野議長・岩瀬議員）

23日 長南小学校運動会 議会広報特別委員会

次回の定例議会は、

12月3日（水）から

開会の予定です。

委員のひとりごと

「暑さ寒さも彼岸まで」は、季節の移り変わりを表す言葉です。つい一ヶ月前までは、エアコン無しでは過ごせませんでした。ところが今や、ストーブが必要な時期になってしまいました。

秋冬野菜のシーズンになりました。私は野菜作りが楽しみです。私は大根、白菜、キャベツ、ホウレンソウ、タマネギ、ニンニクなどの野菜作りに励んでいます。千枚漬けが美味しいことから、聖護院大根も作ります。

野菜作りは稲作よりも難しいと思います。土作りから、苗づくり、防虫・防菌、除草、追肥など大変です。品種ごとに知識と経験が必要です。あわせて忍耐も必要です。

ご同輩の皆さま、ゴールは近くなりました。野菜作りをされている方々は元気な人が多いと思います。共に頑張りましょう。

（加藤喜男）

長南町議会広報特別委員会

発行責任者	松野 唱平
委員長	太田 久之
副委員長	鈴木 ゆきこ
委員	加藤 喜男
同	河野 康二郎
同	安部 潤一

町ホームページに定例議会等の会議録を公開しています。

ホームページアドレス⇒ <https://www.town.chonan.chiba.jp/chousei/gikai/> （過去の議会報もご覧いただけます。）